

令和4年度

## 教員のためのチーム「学校・家庭・地域」連携講座

令和4年11月17日(木)10:00~15:30

会場:青森県総合社会教育センター第1研修室 受講者:41名

### 1 趣旨

コミュニティ・スクール及び地域学校協働活動の推進において、関係する主体（教職員、児童生徒、保護者等）それぞれが実効性を感じられる取り組みとして展開していくため、「コミュニティ・スクールや地域学校協働活動に期待される効果」や「効果発現のプロセス」等の実際を学ぶ。

### 2 内容

【講義】学校から見たコミュニティ・スクールの成果

講師 文部科学省総合教育政策局CSマイスター

由利本荘市立西目中学校 校長 高野 睦



【演習】目的を共有するための「熟議」を体験する

～青森の未来を担う子どもたちのためにできること～

ナビゲーター

文部科学省総合教育政策局CSマイスター

由利本荘市立西目中学校 校長 高野 睦

### 3 講義要旨

- 学校長の目から見て、学校運営協議会に地域の方に参画してもらい、当事者意識を持って学校と地域の未来を考えてもらうことの効果は大きいと考える。地域の方と目に見える関係を築くことができ、学校行事などの運営にも助言をいただいている。
- 地域の方の協力を得ることによって、教職員の業務の軽減につながっている。また、学校運営協議の取り組みを充実したものとするためには、「委員全員で十分に議論を尽くすこと」、「学校が抱える課題などの情報も隠さずに委員と共有すること」、「学校の情報を積極的に地域に発信すること」が大切である。
- 公立の高等学校において「スクールポリシー」を策定する上でも、学校運営協議会で協議することが重要となる。高等学校では、地域の企業や関係機関なども地域と捉え、テーマ型のコミュニティ・スクールを目指すことが「令和の日本型学校教育の在り方」として文部科学省から答申されている。

### 4 アンケート結果から（講義の満足度について）

受講結果に満足	31人（83.8%）	どちらかと言えば満足	6人（16.2%）
どちらかと言えば不満	0人（0%）	不満	0人（0%）

- 大変勉強になりました。個人的には、このタイトルのように「学校・家庭・地域」で子どもを育てることにとっても関心があったので有意義でした。学校は教員が変わり、生徒は入学と卒業で変わりますが、地域の人材は人が変わりません。地域のことも理解した上で教育活動を展開することは、大いに意義深いと思います。
- 高等学校の動きがわかり、有意義な内容でした。地域で子どもを育てる大切さを再確認することができました。
- 学校運営協議会の組織についても具体的に知ることができて大変参考になりました。教育課程や年間指導計画にも反映させられるよう校内での活動を工夫したいと思います。
- 働き方改革と相まって、いかに教員が負担感なく受け入れ、一体感をもってコミュニティ・スクールのよりよい運営をしていくかを考えるよい機会となりました。

令和2年度の小学校から新学習指導要領の完全実施がはじまり、令和4年度をもってすべての校種で完全実施となりました。新学習指導要領を通底する理念は「社会に開かれた教育課程」ですが、従来の地域連携とどのように違うのかなど、各学校において対応に苦心している状況が窺えます。本研修は社会教育サイドから学校教員へタイムリーな情報を提供できる数少ない研修機会として、ますます充実させていく必要があると感じています。